

市議会

VOL.168

だより

2016.

3

Contents

特集	2
一般質問	4
第4回定例会の議決の概要	20
議会活動レポート	30
市民の声/次回定例会	31

特集

東広島市の障害者雇用



谷議員、坪井議員が聞く

東広島の 障害者雇用

表紙写真／話をお聞きした皆さん

今回は、「東広島の障害者雇用」をテーマに、障害者の就労支援に取り組んでおられる事業者の方と、障害のあるお子様をお持ちの保護者の方から、障害者の雇用を取り巻く課題と現状についてインタビューしました。

プロフィール



社会福祉法人しらとり会
ワークセンターなかよし
管理者 かきお やすひろ 垣尾 泰弘さん



社会福祉法人つつじ
広島中央障害者就業・生活支援センター
就業支援ワーカー たなか みのる 田中 稔さん



まさお やすよし 垣尾 泰由さん

※ 就労継続支援B型…障害者総合支援法に基づく就労継続支援のための施設。現時点で企業などで働くことが困難である方に対し、働く場所を提供している。雇用契約を結ばず、作業分のお金を工賃として受け取るため、比較的自由に働くことができる。

その方の人生を考えていくと、 継続的なサポート体制の整備が必要

Q 自己紹介をお願いします。

垣尾 ※就労継続支援B型の事業所と、生活訓練もさせていただいています。またそれと併設して地域生活支援センターまほろばで地域活動支援センターのI型の事業、相談支援をさせて

いただいています。

田中 求職中あるいは在職中の障害のある方などで悩みを抱える方に応じて、雇用及び福祉の関係機関と連携し、就業面と生活面の一体的な支援を行っています。

笹尾 娘が広汎性発達障害です。

今現在、自営で室内クロスの張り替えや壁の塗装などをやっております。

Q 不安に思われている現状についてお聞かせください。

垣尾 生活していくために沢山の工賃をお支払いできればいいのですが、下請けの仕事を中心に活動をさせていただいていますので、いろいろ工夫はするんですけど、簡単には工賃を上げることができないのが現状です。

田中 求人ほとんどが短時間のパートの募集ですので、ほとんどが最低賃金になっています。6時間程度の仕事ではとても生活ができません。自立が厳しくなっているというのが現状です。



笹尾 中学校までは義務教育なので行き場があるんですけど、うちの子供は軽度障害者ですが、そういう子供を受け入れる高校がないことが一番不安なところ
です。

Q 今後の課題や要望をお聞かせください。

垣尾 就職までは漕ぎつけたけど、それで終わりとはいかないですよ。その方の人生を考えていくと、いかに仕事を続けていくかということが大事で、継続的なサポート体制を整備する必要があります。

田中 企業の雇用意識と実務現場での意識に大きなギャップがあります。会社は雇用したいんですが、実際一緒に働くのは現場の方ですので、現場との調整が必要になってきます。

笹尾 職業能力開発校みたいなものと高校を併せたような、子供の就職へ向けての後押しをしてやれるような学校を東広島に作っていただきたい。そうすることによって、いろんな勉強を

して技術を身に付けた段階で就職できるなら、雇用の仕方も大分違ってくるんじゃないかと思
います。

Q 最後に一言。

田中 事務職を希望される方がだんだん増えています。求人はないんです。他の職種もそうですが、特に事務職の求人が公
共団体から出てくればいいなと思
います。

垣尾 知的障害・精神障害の方について、ようやく他県で公務員の採用をするところが出てきましたけど、広島県はまだそこ
までいってない。今後ご検討い
ただけたらと思います。

笹尾 一般企業では利益確保も大事ですから、難しい面もあると思
うんです。やっぱりまず市から仕事を出す、仕事をつくる。そしてそれに見合う賃金を支
払う。そういう雇用システムが
できたら一番理想的だなと思
います。



たかはし のりひろ
高橋 典弘
(威信会)

質問した項目

- 地域再生事業
- 情報化推進事業
- 農業振興事業

地方再生のため、積極的 チャレンジの推進を！

地域おこし協力隊・
小さな拠点づくり！

質問

総務省では、地域再生のため
の事業を積極的に進めてい
る。全国の取り組み状況を見
ると、本市はあまりにも対応
が遅すぎる。国の制度を積極
的に活用し、地域おこし協力
隊や小さな拠点づくりの取り
組みを強化すべきと考えるが、
市の見解を問う。

答 弁
槇原副市長
前延企画振興部長

地域おこし協力隊について
は、地域活性化に有効な手段



今後のシステム構築において
は、先進事例等を調査研究し
ながら、ICT利活用の拡充
に努めていきたい。

農商工連携と農商工 マッチングの強化を

質問

攻めの農業をスタートさせ
るため、農商工連携のプロ
ジェクト事業を開始し、商品
開発や販路拡大を図る必要が
あるが、どのように進めるの
か。また、生産と流通のマッ
チングをどのように進めるの
か。

答 弁
前藤産業部長

農商工連携を推進するため、
中小企業者の経営相談所であ
る「広島県よろず支援拠点」
の取り組みを支援していきた
い。生産と流通のマッチング
については、農業関連産業の
企業連合等を利用し、ビジネ
スモデルを創出していく取り
組みを進めたい。

質問

ICT利活用の さらなる推進を図れ！

市民に安全・安心・便利を
提供するためには、ICT利
活用をさらに推進する必要が
ある。積極的に民間活力を活
用すべきと考えるが、市の見
解を問う。

答 弁
藏田市長

行政サービスの向上には、
情報化の推進が不可欠である。



おがわ ひろこ
小川 宏子
(公明党)

質問した項目

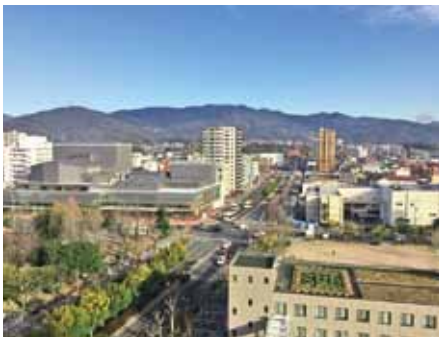
- 魅力のあるまちづくりについて
- 子どもへの貧困対策の推進について
- 若者支援の推進について

魅力のあるまちづくり

西条駅南北の一体的な
活性化の取り組みを

質問

西条駅南北の一体的な活性化を図るためには、東広島芸術文化ホール「くらら」、酒蔵通り、安芸国分寺歴史公園など、施設同士の総合的な連携が何より重要なことだと思う。どのような取り組みを考えているのか。



東広島芸術文化ホール「くらら」周辺

答 弁／藏田市長

中心市街地にある酒蔵、「くらら」、安芸国分寺歴史公園

に加え、今後整備する予定の美術館とも連携する必要がありと考えている。例えば、酒蔵や安芸国分寺公園において「くらら」のコンサートと同じテーマでイベントを開催することによって周遊を促進するなど、各施設の連携を重視した事業展開を検討していきたい。

生活困窮世帯等の
学校支援について

質問

家庭の経済状況にかかわらず、学ぶ意欲のある全ての子どもが質の高い教育を受けることにより、能力・可能性を最大限に伸ばし、夢に挑戦できるように支援することが重要である。どのような取り組みをされているのか。

答 弁／榎原副市長

本市では、平成27年8月から、「東広島みらい塾」と銘打って、生活保護受給世帯の

小学4年生から6年生を主な対象として、週1回の学習支援を行っている。また、支援の必要があると判断した中学生についても、保護者の同意をいただいた上で、学習支援を行っている。

本市のオリジナル
婚姻届で地方創生を

質問

東広島らしいデザインで、市の行政サービスを紹介するオリジナル婚姻届を作成し、若い世代に東広島市をPRしていくことが地方創生につながっていくのではないかと考えている。

答 弁／古川生活環境部長

婚姻届に東広島市の特徴を生かしたオリジナルのデザインを入れることにより、本市への愛着や魅力発信につながるということもあり、地域活性化に向けた手段の一つとして、オリジナル婚姻届の導入を検討していきたい。



いしはら けんじ
石原 賢治
(市民クラブ)

質問した項目

- 男女共同参画社会の実現について
- 指定管理者制度について

事業の推進に 当たっては、 実態把握を

男女共同参画社会の 実現に向けて

質問

平成22年に第2次東広島市男女共同参画推進計画（きらきらプラン）を策定し、性別にかかわらず、個性と能力を発揮することができる社会を目指して、平成26年度までを1期目として施策を推進してきている。平成27年度からは2期目となるが、具体的な

取り組みを行うには、実態がどうであるかを把握する必要がある。1期目の取り組みにより課題も明らかになったと思うが、主な課題は何か。

答 弁／藏田市長

課題としては、広く市民を対象とした講演会等において60歳以上の女性の参加が多いという傾向から、若い世代や働く世代など、より効果が期待できる対象者に焦点を当て

た講座・講演会を開催することとしている。また、平成25年度に実施した市民意識調査において、男女の地位が平等だと思ふ人の割合が9.9%（平成20年度は10.7%）という結果から、男女の平等感が改善されていない状況であり、幼児期からの継続した意識づくり
に重点を置いた啓発を行うこととしている。



第2次東広島市男女共同参画推進計画
(きらきらプラン)

指定管理者制度の 現状と課題について

質問

指定管理者制度を導入し、

10年を迎えている。国の報告では、モニタリングが機能していないことや、職員のスキルが喪失されつつあるなどの懸念も指摘されている。市民参画によるモニタリング評価や職員の育成といった視点に立ち、制度運営を見直す時期に来ているのではないか。

答 弁／松尾総務部長

市民参画については、利用者アンケート等により市民の声を把握するだけにとどめるのではなく、モニタリング等を通じて、指定管理者と市が課題を共有した上で、市民サービスの向上を図っていく。また、市と指定管理者の間に、「連絡調整会議」を設置しており、そうした場を活用することで、経験や知識の蓄積を図るとともに、適切な管理運営を監督できる職員の育成に努めていきたい。



たまがわ まさひこ
玉川 雅彦
(創志会)

質問した項目

■ゴミ処理施設整備について

東広島市のゴミ処理施設の現状について

新施設建設計画の進捗状況と今後の予定

質問

当初の計画では、平成32年10月の稼働に向け、平成27年度中に造成工事に着手することになっている。しかし、11月26日付けの新聞報道によると、平成27年10月から工事業者の選定を始め、平成28年12月までに、有識者を含む審査委員会において施設建設及び

運営を行う事業者を選定することになっている。造成工事の遅れにより、施設建設全体が大幅に遅れることになると思われるが、今後の予定をどのように考えているのか。

答 弁／藏田市長

広島中央環境衛生組合の当初計画においては、平成27年9月頃に用地を取得し、その後、平成28年度末までに造成工事を完了することとなっ

ていた。造成工事については、平成27年9月頃に着手予定だったが、用地取得に時間を要していることから、半年程度の遅れが見込まれている。しかし、この遅れについては、造成工事と建設工事のスケジュール調整等により、現状としては、平成32年10月供用開始の予定に変更はない程度のものと考えている。

新ゴミ処理施設の機種選定について

質問

本市はゼロエミッションの実現を掲げ、排出されるゴミを徹底的に減量化・資源化し、それでも残るゴミについては、燃焼を伴う高効率の発電や熱利用の形でエネルギー化を進めるとともに、最終処分が不要なゴミ処理システムの構築を目指している。このことを踏まえ、機種の選定をどう考えているのか。

答 弁／古川生活環境部長

ストーカ方式、ガス化熔融シャフト炉式、ガス化熔融流動床式のいずれかの処理方式とすることにより、可能な限り技術や価格の競争性が確保された上で、組合が設置した審査委員会において、安全・安心の確保、環境負荷の低減などの総合的な評価により、最優秀の機種を選定していただけのもと考えている。



既存施設と新施設の位置関係

東広島市 竹原市
新施設「広島中央エコパーク」

既存施設「賀茂環境衛生センター」

国土地理院発行の2万5千分の地形図を複製したものである。



あまのまさかつ
天野 正勝
(創志会)

質問した項目

- 自主財源の確保
- 新地方公会計制度への対応見通し
- 有害鳥獣対策について

人口減少時代に順応した 取り組むべき課題

企業誘致の促進による 自主財源の確保！

質問

① 拡張・新規造成中の産業団地に対する引き合い状況並びに、② 志和・IC付近の潜在的な企業進出ニーズにどのような対処していくのか。

答 弁／藏田市長

① 現段階では全ての団地において取得希望面積が分譲面

積を上回っている状況である。② 志和地区は高速道路網に恵まれ、高いニーズがあると考えられており、民間開発による団地開発を基本として支援してまいりたい。

企業会計方式の早期本格導入の実現を！

質問

現行の公会計制度の限界と新地方公会計の有用性をどこまで認識されているのか。

答 弁／石丸財務部長

現行の公会計制度は、現金収支を議会の民主的統制下に置き、予算の適正・確実な執行を図る観点から、確定性、客観性、透明性に優れた単式簿記による現金主義会計を採用している。しかし一方で、資産・負債の累計額等のストック情報が、網羅的・体系的に把握困難という面があることや、非現金コストを含めた正確なコスト情報が把握困難という課題がある。今後、一層の財政状況の厳しさが予測される中で、適切な財政運営を行う上では、発生主義・

複式簿記による会計処理は、現行の公会計制度を補完する大変重要な手法であると認識をしている。

報奨金UPによる有害鳥獣捕獲数の拡充

質問

猟友会会員数の減少・高齢化が進む中、将来の捕獲能力の低下が懸念される。将来を見据えた場合、捕獲数の一層の拡充に重点を置くべきではないか。

答 弁／前藤産業部長

現在、県が行う狩猟免許試験を東広島市においても開催するなど試験を受けやすい環境への配慮や、狩猟免許取得費の助成、捕獲活動に関する保険費用の負担など、捕獲班の後継者を育成する取り組みを行っている。今後もこのような活動の周知を行い、捕獲活動に対する関心や理解を深める取り組みを進める。



東広島島寺家産業団地



あかぎ たつお
赤木 達男
(市民クラブ)

質問した項目

- どう具体化する地域公共交通網の形成
- 国際交流の推進と多文化共生

便利で安心・安全・安定的な 地域公共交通を

生活関連施設をつなぐ
フィーダの整備を

質問

新たに設置する4つの交通結節点の整備を進めるには、9つの生活拠点(各町)の公共施設や商業施設、医院やクリニック、郵便局、福祉・スポーツ施設などの生活関連施設をつなぐバス路線の整備と公共空白地域の解消が不可欠であるが、考えを問う。

答 弁 / 前延企画振興部長

公共交通空白地域は、地形や道路、家屋の密度など、その状況は多様である。こうした地域での移動手段の確保には、地域に根差したNPOなどの協力が不可欠であると考えており、地域のニーズを把握し柔軟に対応していくためにも、NPOや地域組織と密に連携しながら、移動手段の確保策を検討したい。

渋滞・駐車場不足の 市中心部の対策を

質問

来春には「くらら」が開館し美術館建設構想も進み、さらに市中心部へのアクセスニーズは高まる。下見く鏡山地域への交通結節点整備を急ぎ、公共交通によるアクセス性を高めるなどの対策が必要であるが、考えを問う。

答 弁 / 前延企画振興部長

各地域拠点から市中心部までの幹線バスを維持しつつ、広島大学からブルーバールを経由して西条駅、主に国道375



交通結節点 (西条駅)

号を走る黒瀬から西条駅、造賀・久芳までの幹線バスを強化幹線とし、現在、長大な路線となっているバス系統を新たな交通結節点の整備とあわせて分割・再編し効率化を図り、その輸送力を強化幹線に投下することで、サービスレベルを向上させたい。

駅を起点にする循環バスの 早期運行を

質問

西条駅の整備を終え、西条中央循環線の整備と寺家新駅建設が進んでいる。西条駅、寺家新駅を起点とする循環バスの運行を急ぐ必要があるが、考えを問う。

答 弁 / 前延企画振興部長

選好意識調査による需要予測結果を踏まえ、再編実施計画の策定作業における事業者とのワークショップで合意形成を図りつつ、運行計画を検討したいと考えている。



しげみつ ときじ
重光 秋治
(威信会)

質問した項目

- 公共建物の安全性について
- 市道の構造について
- 地方創生について

公共建物の安全性を問う

大丈夫か？
うちの基礎杭は

質問

本市の公共建物の基礎杭の施工における実測データはどのように管理をされているのか。業者任せになっているのではないか。市の担当技師が責任を持って確認をしているのか伺う。

答 弁／下田副市長

杭基礎の施工監理について

は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書」を用いて行っている。杭工事の現場立会の規定はないが、品質計画、工程計画など当該工事で実施する内容を、具体的に文書で記した施工計画書において、施工規模等を勘案し、市職員による現地立会の項目、頻度を定め、適正な施工の確認を現地で行っている。

市道の新設・改築要望の処理見込みは？

質問

平成23年に市道の基本断面構造が擁壁から法面に変更された。これは工事費の削減が主な目的であると聞いている。施工単価が下がることで、市民からの要望が少しでも早く叶えられるのではと期待するが、如何か。

答 弁／渡辺建設部長

旧基準の標準的工事費が1m当たり約24万円であるのに対し、新基準のそれは約17万



杭基礎工事

円と試算しており、約30%のコスト縮減により、要望路線整備の進捗が図れるものと考えている。

プレミアム付商品券
事業の成果を問う

質問

多くの市町がこれを発行し、全国的に横並びの状況である。政府からは各市町で創意工夫し実施するようにと指導されたようだが、本市では具体的にどのように実施をされたのか。

答 弁／藏田市長

小規模事業者における消費を促進するため、12枚の内4枚は一般店のみで使える専用券としたことや、商品券のデザインについても、本市公認キャラクターの「のん太」を取り入れ、市民により親しみ易いものとするなど、実行委員会での議論を踏まえ、独自のアイデアを取り入れている。



みやかわ やすこ
宮川 誠子
(威信会)

質問した項目

■東広島の教育—地域を担う人を育てる

戦後の教育を見直し、地に足のついた教育を！

エリートを作る教育で良いのか

質問

日本におけるエリートとは、正解を知っている人のことであるが、「正解」とは過去の研究の結果でしかなく、最も重要なことは「正解」のない世界で未知の領域を紐解く能力を身に付けることである。社会においても同様で、「正解」を暗記しているだけの人間は通用しない。考えを伺う。

間は通用しない。考えを伺う。

答 弁／藏田市長

先行き不透明な現代社会において、知識や技能以上にたくましく生き抜いていく力が必要であると感じている。各学校においては、子供達が自ら課題を見付け、その解決に向けて探究的な活動をしていく学習にも、より力を入れて取り組んでいる。

心を育てる・人格を敬うことから始まる

質問

戦後、子供は権利を有する弱者になった。子供でも一人前の人格として扱い、信頼して任せれば子供の背筋は伸びるはずだ。人格を尊重することは、権利を与えることではなく、家族の一員としてのミッションを与えることだと思う。考えを伺う。

答 弁／下川教育長

親や教師が子供達一人一人を人格を持った人間として大

切にし、深い信頼関係を構築していくことが重要である。その中で、自己存在感や自己肯定感を高め、自分の役割を果たせる人へと成長していくものと考えている。

学校に過度な役割を背負わせていないか

質問

近年、学校の役割が膨大になっている。学業以外のことを教師にやらせているのは日本だけと聞く。学業以外のことは事務方が担い、学校は教育のプロとして、一人一人の子供に向き合い、個性を見抜き、長所を伸ばす丁寧な教育をして欲しい。考えを伺う。

答 弁／下川教育長

極めて多忙化している学校現場の業務改善に取り組むことで、教師が子供に関わる時間を確保し、一人一人の子供に向き合って、良い所を伸ばす教育を行ってまいりたい。



安芸津中学校



なかがわ おさむ
中川 修

(市民クラブ)

質問した項目

- 東広島市の水道事業について
- 図書館の指定管理について

住み良いまち 東広島市の実現にむけて

東広島市の水道事業の
今後について

質 問

①水を安定的に供給するためには、中長期的な視点で設備の更新、耐震化を必要があるが、どのように進めるのか。

②広島県の水道事業が2036年以降には赤字に転じる記事を見たが、長期の試算をどのように見ているのか。

答 弁／市川水道局長

①施設の更新計画では、優先度の高い15施設を更新することとし、管路の更新計画では、耐震性が低く、漏水等の事故率の高い、約85キロを更新する。なお、耐震化は更新にあわせるが、重要な施設は、計画を策定し実施する。

②広島県の水道用水供給事業の財政試算は、長期の試算であり、社会状況に応じて変

動していくもので、広島県においても経営健全化のための取り組みを進めていかれるものと考えている。仮に受水費の値上げが大きなものとなれば、影響も出るが、当面はそのような状況にないと考えている。

指定管理による今後の 図書館運営について

質 問

①図書館流通センターは全国の公共図書館約432施設で受託運営の実績がある。こういった評価がまさったということだと思いが、いま一度、選定理由を問う。

②図書館は市民の知の集積の場であり、書店とは違うと承知され、図書館法に基づいて運営をされると思うが、指定管理を行うことによる具体的なメリットがあるのか。

答 弁／信井理事

①実績はもとより、本市の

図書館の設置理念や特性を十分理解され、多くの提案をされており、総合的に見て安定した運営と利用者満足度の向上が期待できると判断した。

②利用の多い3館の平日の開館時間の拡大、子ども向けの工作教室等の地域の特性も踏まえた事業の充実、学校支援の専任者の配置、指定管理者のネットワークを生かした支援体制を整えるなど、地域の情報拠点としての図書館機能をより充実させたい。



東広島市立中央図書館



おかだ いくそう
岡田 育三
(創生会)

質問した項目

- TPP対策について
- 防災について

TPPに対し 強い地域農業を目指して！

本市のTPPに対する 対策と考えを問う

質問

TPPの大筋合意により、政府より政策大綱が示されたが、本市は、中山間地での農業者が多く、生産現場では大きな不安を抱えている。本市への影響、また、対応等の本市の考えを問う。

答 弁／藏田市長

影響については、現時点で

市民生活への影響と 対応策について

質問

は不確定な要素が多く、一般的には日本の農林水産業にダメージを与える可能性がある。今後、国の対策や市場の動向などを注視し、関係機関と連携し、担い手の育成とともに、国の示す農業政策に速やか、かつ柔軟に対応し、農林水産業者を支援したい。

食に対する安全性など市民は不安を感じている。消費者に対し地場産農林水産物の積極的な消費について啓蒙活動を強化・徹底すべきではないか。

答 弁／藏田市長

地産地消の取り組みとして、東広島ブランド推奨マークの認定制度を開始し、認定者によるイベント販売や地産地消を進めるパンフレットの配布等、また、学校給食では、地元食材供給推進委員会を定期的に開催し、情報共有をしている。

今後は、国が行うTPP対策に呼応して、国、県と連携し、適切な対応策を検討し、地産地消を一層推進したい。
**官民一体となった
防災の取組みについて**

質問

広島県が掲げる「みんなで減災」県民総ぐるみ運動に対し、本市としての取り組みと関係機関との連携について問う。

答 弁／榎原副市長

本市では、出前講座の実施、緊急告知ラジオ、防災情報等メール配信サービスの普及促進、避難判断マニュアルを改訂、防災タウンページなどにより市民への周知、また、自主防災組織の支援を行っている。関係機関との連携では、東広島市防災会議を設置、総合防災訓練の実施、また、年度当初には緊急連絡網を整備し、情報伝達・共有が実施される体制を構築している。引き続き平常時からの連携の構築を進めたい。



今年度実施された総合防災訓練



か ね よし き
加根 佳基
(公明党)

質問した項目

- 危機管理行政について
- 農業行政について

危機管理行政について

防犯カメラの 新規増設について

質 問

防犯カメラ設置について、希望する地区から順に数台ずつ設置していき、速やかに全地区に設置していただけるよう進めるべきではないか。

答 弁／松尾総務部長

防犯カメラは、犯罪の抑止効果認められる一方で、プライバ

質 問

防犯カメラ設置条例 制定について

バシーの保護などの課題もある。また、設置方法については、要望に応じた補助金制度を導入している自治体もある。これらの事例を参考に、今後の設置の方向性について整理するとともに、まずは、市民が多く利用する公共空間など必要性の高いところについて検討したい。



東広島駅前に設置された防犯カメラ

プライバシーに関する権利は、憲法13条により保障されていると解されるため、防犯カメラを設置することで、特定多数のプライバシーを侵害することがないように十分留意することが必要である。トランプル解消のためにも設置ルール条例が必要ではないか。

答 弁／松尾総務部長

指摘のとおり一定の歯どめが必要であると認識している。他の自治体では条例を設置している事例があるが、条例化については、今後のカメラの

設置方針と合わせて、引き続き研究したい。

ジビエ加工施設の 取り組みについて

質 問

全国各地で野生動物の生息数が増大し、生息範囲も拡大している。農作物の被害額は年間200億円前後にも上がっており、極めて深刻な状況であるが、現在、ジビエ加工施設については、どのような取り組みを行っているのか。

答 弁／前藤産業部長

加工処理施設は、有効な取り組みになると認識をしているが、販路の確保など多くの課題がある。そのため、施設運営について11月に島根県美郷町を視察し、また、1月から2月には、県外の先進地を訪問し、それらの事例をもとに、捕獲班等と協議、検討を行うこととしている。



なかひら よしあき
中平 好昭
(誠志会)

質問した項目

- 財政について
- 地方創生・一億総活躍社会

平成32年度までの「財政見直し」について

財政力指数の低下、
経常収支比率の上昇

質問

基金を取り崩さなくては、財政運営を行うことができない中、地方創生、東広島市まち・ひと・しごと創生総合戦略は5つの柱を設定し政策を掲げているが、財政力指数の低下、経常収支比率の上昇、投資的経費を減額する財政見直しは市発展に資するのかな。

答 弁／石丸財務部長

一定規模の投資は必要と認識しており、類似団体並みの投資的経費の確保は行っていく。総合戦略に掲げる事業の取り組みによる効果は、税収面での数字にあらわすことは難しいが、今後、実施予定事業の効果等を精査しつつ、毎年度、社会経済情勢を踏まえた財政見直しのもと、効果的に総合戦略を推進したい。

電力量・電力費軽減の 取り組みについて

質問

固定費の削減として、電力量・電力費軽減の取り組みについて、来年4月の電力小売りを含め全面自由化が始まるが、電力自由化に合わせ取り組んでみてはどうか。

答 弁／石丸財務部長

電力入札の実施を含め検討していくことが必要だが、入札不調や割高な契約を締結せざるを得ないという事例が生じている。費用対効果の視点を踏まえ、リスクが最小となるよう取り組みたい。また、消



LED照明を利用した防犯灯

費量の削減に効果的な機器については、効果が見込める製品から随時導入を図っている。
地方創生・一億総活躍社会、政策課題は

質問

まち・ひと・しごと創生総合戦略、基本目標の方向性、具体的な施策を、市民の理解を得るためにも、きめ細やかな説明、理解を求める広報も継続的に行うことが必要ではないか。

答 弁／藏田市長

戦略策定後、ホームページや広報紙へ掲載するとともに、地域の皆様や青年会議所、また大学生に対して、戦略の策定経緯や基本理念、そして基本目標等に関する説明の場を設けている。今後は、生涯学習、出前講座に位置づけるなど、あらゆる機会を通じて、市の考え方をわかりやすく伝えたい。



たけがわ ひであき
竹川 秀明
(公明党)

質問した項目

- インフラの劣化調査と対策について
- 「子育てするなら東広島」の実績と展望について
- 情報伝達の適正化について

安全・未来・安心の東広島！ 街づくり宣言！

インフラ劣化調査推進 で安全都市宣言！

質問

①防災・減災の観点から、道路・橋梁の劣化調査の方法と実績について、②道路の陥没に備えた路面下空洞調査の取り組みと認識について、③防災・安全交付金の活用について現状及び展望を問う。

答 弁 / 下田副市長

①幹線道路は、路面性状調査を実施し、その結果、延長3.5kmの舗装修繕工事を実施した。橋梁は、近接目視による点検を実施し、健全度の低い58橋のうち33橋の補修を終えた。②路面下空洞調査は実施していないが、地下埋設管等の老朽化に伴う空洞が懸念されるため必要性は認識している。③防災・安全交付金は、インフラ再構築、生活空間の安全確保に資する事業に交付

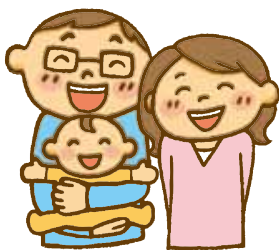
されることから、橋梁やトンネル及び舗装の点検・補修に活用してきた。当面この点検・補修を優先して取り組む。**子育てするなら東広島で未来都市宣言！**

質問

①子ども×未来プロジェクトの活動実績と展望について、②子ども未来部の設置の意義づけについて、③保育士の確保、保育料の低廉化、医療費の軽減について問う。

答 弁 / 藏田市長 和田福祉部長

①婚活支援セミナー、未来のパパママ講座など、ライフ



ステージに対応した取り組みを行っている。②児童福祉、子育て支援を専任とする部を明確にし、「子育てするなら東広島」の実現に向けさらなる充実強化を図ろうとするものである。③潜在保育士の発掘につとめ、保育料の公平な負担のあり方については、調査検討し、医療費軽減は、制度の拡充について前向きに検討してまいりたい。

情報伝達の適性化推進 で安心都市宣言！

質問

NHKラジオなどの受信困難地域の解消について、その展望を問う。

答 弁 / 前延企画振興部長

ラジオ難聴の改善については、事業者が対応されるものであり、ラジオ難聴に関する要望があれば、事業者等の相談窓口を御案内するとともに、市も改善要請をしていく。



おおたに ただゆき
大谷 忠幸
(街おこしをめざす会)

質問した項目

- 水行政について
- 雇用創出について
- 新ごみ・し尿処理施設建設について
- (仮称)寺西第2小学校建設について

生命線の確保と起業による雇用創出を問う

生命線(水)の確保の現状と明日

質問

本市は太田川から水を送んでおり、その管路で漏水が起きた場合、21時間以内に復旧しなければ断水となる。これは危機管理上問題である。よって三永源地を獲得するということの実現性について問う。

答 弁 / 市川水道局長

三永源地地の水利権は、日量3.5万トンを広島県が使用する替わりに、呉市は同量の供給を太田川から受ける水源の振り替えが行われているため、三永源地地の移譲の実現性は低い。なお、緊急的に三永源地地の水を使用することについては、有効な手法と考えており、広島県及び呉市と引き続き協議していく。

生命線(ごみ・し尿処理)の確保の明日

質問

広島中央環境衛生組合の新施設は、廃棄物ゼロ、ゼロエミッションの旗印を掲げ、検討されてきたはずだが、新聞報道によると組合所有の最終処分場以外への灰の埋め立ても選択肢に含まれているという。これは、基本理念に反しているのではないか。

答 弁 / 古川生活環境部長

ストーカ炉プラス灰の組合所有の最終処分場以外への埋め立てについては、今後の仕様書を作成する際の参考見積



現在のゴミ・し尿処理システム

もりとして募集されたもので、最終処分量ゼロに向けた新たな処理システム構築という、これまでの検討経緯を踏まえた上で、環境省の指針に従い、幅広い提案を求めた結果、最終処分も認めることとなったものと伺っている。

シーズ探索指向の起業による雇用創出

質問

市が大学の研究シーズの十分な把握をしていないため、企業との仲人役を果たせないのではないか。それが、魅力ある企業が起業できない最大の原因ではないのか。

答 弁 / 前藤産業部長

各大学には、すでにコーディネーターが多数おられる。市は、企業と大学をマッチングするコーディネーター事業を積極的に数多く行い、地域経済の活性化と雇用の創出一層取り組んでまいりたい。



つばい こういち
坪井 浩一
 (創生会)

質問した項目

■ 中心市街地の活性化について

中心市街地の活性化について

交通結節点の位置づけと集客について

質問

西条駅は、1日約2万人の乗降客があるが、そのほとんどが通過していくだけの通勤・通学客である。この中心市街地に、人を集め、人の動きを留め、その地区に住む人たちの動きそのものを活性化させるためには、何が必要なのか基本的な考え方を問う。

答 弁／藏田市長

西条駅を交通結節点として、中心市街地の魅力を高めていくためには、利便性の向上のみならず、訪れる人が立ちどまるような仕掛けも必要であると考えている。幅広い年代のライフスタイルに合わせた商業機能の整備やイベントなどと連携した商店街の魅力づくりが必要であると考えており、まちづくりや交通ネット

ワークとの連動性をもって推進していきたい。

中央生涯学習センターの跡地利用は？

質問

中央生涯学習センターの跡地について、市として、どれだけ強い意志を示せるのか、どういった思いを持ってまちづくりに臨んでいるのか問う。

答 弁／榎原副市長

酒蔵をはじめとした観光・景観保全や都市機能集積の視点、また、生活環境や商業機能等の住民生活の視点に立ち、



西条駅とロータリー

基本的な方向性をしっかりと描き、本市のまちの中心の再構築のために最も効果的な取り組みを、民間活力の活用も含め、適切に検討を進めてまいりたい。

西条本通線の美装化計画について

質問

酒蔵を訪れる観光客だけでなく、住民の利便性も考慮し、人と車の往來に配慮した美装化について考え方を問う。

答 弁／来得都市部長

現在、酒蔵地区まちづくり協議会において、道路の形状、道路表面のデザイン、道路側溝の整備方針などの協議を行っており、年度内には、道路の美装化案を確定させる予定としている。道路側溝のふた掛けや道路面を歩行者と車両の分離によるデザインとすることにより、歩行者の安全確保を図ってまいりたい。



いわさき 和仁
岩崎 和仁
(創生会)

質問した項目

- 地域産業振興について
- 危機管理対策について
- 福祉行政について

地域産業の振興・
危機管理体制・
福祉行政について

日本酒の振興を通じた
東広島市のPRについて

質問

来年4月に広島市において

伊勢志摩サミットに伴う外相
会合が開かれるが、これは本
市のお酒を世界へPRする良
い機会だと思う。マスコミを
通して国内外に発信されるこ
とにより、お酒の消費のみな
らず、酒づくりの拠点である
独立行政法人酒類研究所が所

在する本市PRの絶好のチャ
ンスでもあると考えるが、市
の考え問う。

答 弁／藏田市長

伊勢志摩サミットの外相会
合は、各国の要人、海外のマ
スコミや多くの関係者が訪れ
るため、本市の日本酒をPR
する大変有効な機会であると
捉えている。連携が可能な部
分があるか不透明だが、広島
市と連携を図っていく。

災害ボランティア
センターについて

質問

災害ボランティアセンター
の円滑な運営のためには広大
な土地が必要である。災害時
の設置場所について、土地利
用に関する災害応援協定など
を含む市の考えを問う。

答 弁／松尾総務部長

ボランティアセンターの設
置場所については、大学施設
を利用していただくことが
有効と考えており、現在、社
会福祉協議会とともに市内の



複数の大学に協力を要請し、
協議を進め、災害時の協力を
関する協定を締結するよう最
終の調整を行っている。

生活困窮者自立支援事業
について

質問

本市の生活困窮者自立支援
制度について、生活支援セン
ターの成果と支援体制をどの
ように考えているのか問う。

答 弁／和田福祉部長

相談支援の成果は、4月～
11月末で延べ1,820件となってい
る。この間の新規相談実人数
は370人で、この内の4割につ
いて継続支援が必要と判断し
た。支援体制は、福祉部各課
及び教育委員会等の関係課18
課に加え、ハローワークと社
会福祉協議会で生活困窮者自
立支援事業推進会議を組織し、
事業の推進状況、成果等の確
認、就労支援の方針等につい
て協議を行っている。

第4回定例会

議決した案件

- 条例案…10件 ●予算案…8件 ●決算案…2件 ●同意案…18件 ●その他…195件
 (●全会一致可決…223件 ●賛成多数可決…10件)

○指定管理者制度とは？

これまでの公の施設（体育館、公園、コミュニティ施設など）の管理委託先は、地方公共団体の出資法人や公共的団体に限定されていましたが、「指定管理者制度」では、民間企業などの団体による管理が可能となりました。

本市では、平成18年4月1日から公の施設の一部に指定管理者制度を導入しています。

なお、学校教育法など個別の法律において、公の施設の管理主体が限定される場合には、個別の法律の規定が地方自治法に優先するため、指定管理者制度を採ることはできません。

○期待される効果は？

民間能力を活用することによる住民サービスの向上、管理経費の節減、管理運営の効率化、新たな発想の活用などです。

Pick Up

〈議案第318・360・361号〉
図書館・火葬場・運動公園の指定管理者が決定しました

平成28年4月1日から、東広島市立図書館及び東広島市火葬場において、さらなる市民サービス向上を目指すことを目的として、民間事業者が管理を行うこととなりました。また、東広島運動公園については、従前の指定管理者を変更し、新しい事業者が管理を行うこととなりました。

議案第361号 東広島市立図書館

の指定管理者の指定について

【施設の名称】

東広島市立中央図書館、同
 サンスクエア児童図書館、同
 黒瀬図書館、同福富図書館、
 同豊栄図書館、同河内こども
 図書館、同安芸津図書館

【指定管理者】

(株)図書館流通センター

【指定期間】

平成28年4月1日～
 平成33年3月31日

【主な運営内容】

○開館時間

中央図書館 9時～18時
 サンスクエア 10時～20時
 黒瀬図書館 10時～19時
 その他の館 10時～18時

○学校の支援

中央図書館に学校図書館
 業務の経験者1名を学校支
 援の専任者として配置する。

○行事や展示等

子どもからシニアまで各
 利用者層に合わせた行事や
 展示を展開する。

○その他

来館が困難な方に電子図書
の貸し出しを行う電子図書館
サービスを提供する。

【質疑の内容】

Q 指定管理になって、サービスは全般的によくなると考えてよいか。

A 開館時間の延長が分かりやすい例であるが、それ以外にも学校の支援、図書館職員の育成によって、図書館全体のサービスが向上していくといったことも強く提案をされており、7館全館で利用者にとってサービスが向上していくと考えている。



東広島市立中央図書館

議案第360号 東広島運動公園の
指定管理者の指定について

【施設の名称】

東広島運動公園

【指定管理者】

イズミテクノ・RCC文化センター・シンコースポーツ
共同企業体

【指定期間】

平成28年4月1日～
平成33年3月31日

【質疑の内容】

Q 新たな指定管理者となることで、従業員の雇用形態に影響が生じると考えるが、何か対策を講じているのか。

A 雇用契約については指定管理者において実施することになるが、指定管理者の公募時において、最低賃金は必ず確保することを条件に公募を行った。また、候補者からは再雇用についての提案もされている。



東広島運動公園

議案第318号 東広島市火葬場の
指定管理者の指定について

【施設の名称】

ひがしひろしま聖苑、黒瀬斎場、豊浄苑、河内斎場、安芸津斎場

【指定管理者】

シナジー・五輪グループ
共同企業体

【指定期間】

平成28年4月1日～
平成31年3月31日

【質疑の内容】

Q 4者から応募があったというのだが、具体的に、どのような提案があって、どの辺が市民サービスの向上につながるのか。

A キッズコーナーやカフェを備えた自販機の設置など、待ち時間も快適に過ごせる設備の整備、194箇所にも及ぶ他市での実績と蓄積されたノウハウ、施設の性格上、何よりも接遇を重視し、そのための研修を行っていくことや地域性や風習を踏まえたマニュアルの整備をすとした点、また危機管理面でのマニュアル整備、緊急時の対応訓練の実施、炉メーカーのバックアップ体制、緊急時の周辺施設からの応援体制、新規雇用の際としての地元雇用への姿勢等について優れていると判断した。



ひがしひろしま聖苑

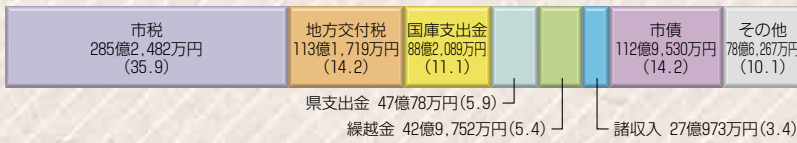
Select.1

平成26年度東広島市歳入歳出決算・水道事業会計決算を認定

〈議案第149・150号〉

平成27年第3回定例会最終日に、平成26年度決算特別委員会を設置し、9月18日から10月6日にかけて決算審査を行いました。その結果をもとに、本定例会初日において賛成多数をもって決算認定されました。

一般会計歳入決算額 795億2,890万円(前年度比2.1%増)



一般会計歳出決算額 764億5,995万円(前年度比3.9%増)



(カッコ内は構成比)

平成26年度に実施した主な事業

小中学校へのエアコン設置	6,789万円
小中学校の耐震化	8億2,814万円
子育て世帯臨時特例給付金支給	2億6,656万円
防災情報通信運営事業	2億8,494万円
消防庁舎(安芸津分署)の建設	1億5,296万円
市道の整備	16億2,606万円
産業団地の整備	4億8,174万円
シティプロモーションの推進	2,946万円
市民協働のまちづくりの推進	1億4,979万円

水道事業の概要

現在の水道事業は、ライフスタイル・社会環境の変化、大口需要者の水道離れ等、これまでと異なる局面を迎えており、施設の老朽化、水質管理、効率的経営基盤、危機管理対策等の多様な課題がある中、給水要望に応える形での未普及地域の解消、配水管等老朽施設の更新及び耐震化の計画的かつ効率的な推進、漏水対策による有収率の向上を重点課題として取り組まれている。



音楽室に設置されたエアコン

企業の撤退・縮小の影響による調査をしっかりと講じるべきで、産業団地の投資よりも、医療・福祉・教育に振り向けるべきである。

反対討論(谷委員)

◎委員会での討論

◎決算特別委員会委員

- | | |
|------|---|
| 委員長 | 石原賢治 |
| 副委員長 | 加藤祥一 |
| 委員 | 天野正勝、岩崎和仁、貞岩敬、岡田育三、坪井浩一、玉川雅彦、北林光昭、重光秋治、谷晴美、中平好昭 |

Select.2

組織体制が変わります

〈議案第366号〉

組織機構の見直しに伴い、平成28年4月から組織体制が変わります。「子育てするなら東広島」の実現に向けて、「こども未来部」が新設されます。

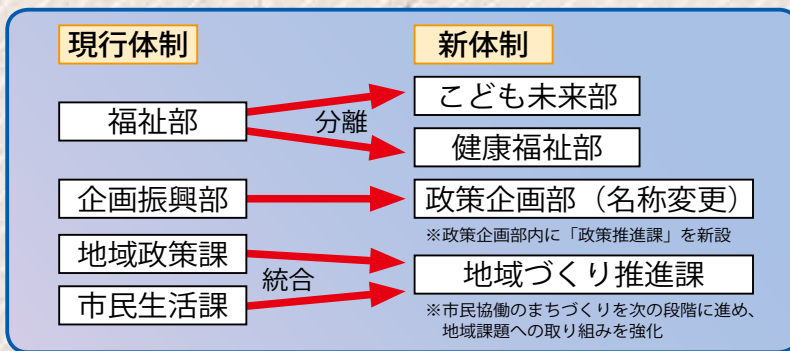
◎見直しの目的

東広島市のさらなる成長に向けた取り組みや厳しい財政状況に即した、より効果的・効率的な組織を目指す。

◎見直しの視点

- ① 効果的・効率的に実施できる体制
- ② 組織運営や業務の推進に支障が生じている体制の解消
- ③ 市民サービス向上につながる体制
- ④ 事務事業の廃止・統合・簡素化や事務分担の平準化が図られる体制

主な見直しの概要



Select.3

一般会計補正予算(第4号)

〈議案第374号〉

歳入歳出予算の総額に22億4千357万7千円を追加し、補正後の総額を、歳入歳出それぞれ801億2千838万8千円とするものです。

◎歳出補正の主な内容

○ 来年度4月以降、河内町宇山地区の住民自治協議会「四季の里宇山」への導入を予定している「地域おこし協力隊」を受け入れるために必要な住環境の整備費や募集などに係る経費の増額
(186万4千円)

○ 情報通信基盤整備における光インターネットサービス新規利用申し込みの大幅な増加に伴う事業費の増額
(1千580万円)



(仮称) 寺西第2小学校建設用地の一部

○ (仮称) 寺西第2小学校の建設用地について、土地開発公社が先行取得した用地の一部を買い戻すための土地購入費の増額
(8億5千710万円)

Select.4

〈議案第170号〉

市民ホール「くらら」に
グランドピアノを購入

東広島芸術文化ホール「くらら」の大ホールに設置するため、フルコンサートグランドピアノ（スタインウェイD-274）1台を購入します。

◎こんな質疑がありました

Q 主な公会堂等は皆スタインウェイということだが、全国的にスタインウェイがどの程度あるのか。

A 全国の1,500席以上のホール173施設のうち9割以上の納入実績がある。

Q スタインウェイに決定された選定者はどなたが担当されたのか。

A ピアノの演奏者、ピアニスト、大学の音楽の先生、指定管理者等に聞き取りをした。



フルコンサートグランドピアノ（スタインウェイD-274）
取得価格…2,298万2,400円

Select.5

〈議案第364号〉

公共下水道事業等に
公営企業会計を導入

公共下水道事業、農業集落排水事業及び産業団地汚水処理施設事業について、平成28年4月1日から、地方公営企業法に基づく財務規定等を適用し、公営企業会計を導入します。

◎導入の経緯

課題

- 下水道施設の老朽化による更新
- 将来的な人口減少による料金収入の減少



解決策

- 中長期的な視点に立った計画的な経営基盤の強化
- 財政マネジメントの向上



公営企業会計の導入

- ストック（資産・負債）情報の把握が可能
- 計画的な施設維持・管理が可能
- 費用対効果に主眼を置いた運営が可能

Select.6

〈議案第370・371・372号〉

生涯学習センター等の
施設・設備の使用料を変更

志和・黒瀬・豊栄・安芸津生涯学習センター、市民文化センター、芸術文化ホール「くらら」の施設の使用料、附属設備の使用料を改定するものです。

◎使用料の改定理由

平成28年4月1日の東広島芸術文化ホール及び安芸津生涯学習センターホール及び図書館の開館に伴い、芸術文化ホールの使用料との均衡を考慮したため。

◎こんな質疑がありました

Q 料金設定をするときに何か基準があったのか。

A 周辺市町の状況や類似施設を参考に、くららの金額設定をしており、それとの均衡を図る形で、生涯学習センター等の使用料を設定した。

Q 設備内容とかそれぞれによつて料金も違ってくる。時代感覚がないのではないか。

A 指摘のとおり、全て見直しをして整理すべきだが、そこまで間に合わなかったもので、このような状況に至った。



4月に開館する「くらら」の大ホール

Select.7

〈議案第373号〉

施設の寄付を受け、志和市民
グラウンドを新たに設置

株式会社ワイテックが昭和48年に整備され、同社硬式野球部の専用グラウンドとして活用・管理をされていたが、平成25年に同社の硬式野球部が解散されたことから、本市での有効活用について同社との協議・検討を行い、寄附を受けた。

◎施設の概要

①施設名	志和市民グラウンド
②位置	志和町志和東10884番地
③利用時間	午前8時から午後10時まで ※夜間照明設備なし
④休場日	12月28日から1月5日まで
⑤野球場	1時間につき600円（全面）
⑥サブグラウンド	1時間につき300円（全面）



志和市民グラウンド

◎志和市民グラウンド

野球場1面とサブグラウンド1面が整備されており、野球場は野球・ソフトボール、サブグラウンドでは、ゲートボール及びグラウンドゴルフなど多目的に活用できる。

議案の審査経過

表決が分かれた案件の表決結果

議案番号▶		議案第149号	議案第150号	議案第174号	議案第175号	議案第318号	議案第360号	議案第361号	議案第362号	議案第365号	議案第374号
会派名	議員名										
創生会	岩崎 和仁	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	貞岩 敬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	岡田 育三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	坪井 浩一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	北林 光昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	加藤 祥一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	重森佳代子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	池田 隆興	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
威信会	鈴木 利宏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	重光 秋治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	宮川 誠子	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	杉原 邦男	○	○	除	○	○	○	○	○	○	○
	高橋 典弘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
創志会	山下 守	議	議	議	議	議	議	議	議	議	議
	牧尾 良二	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	天野 正勝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	大道 博夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公明党	玉川 雅彦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	奥谷 求	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	加根 佳基	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市民クラブ	竹川 秀明	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	小川 宏子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	中川 修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
誠志会	石原 賢治	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	赤木 達男	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠	欠
	乗越 耕司	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日本共産党	中平 好昭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	梶谷 信洋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
街おこしをめざす会	谷 晴美	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	大谷 忠幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※「議」は議長、「○」は賛成、「×

本会議の討論

●議案第149・150号(平成26年度歳入歳出
決算・水道事業会計利益の処分及び決算)

反対

谷 晴美議員

採算性のない大規模事業は見直しすべきである。防災などの命を最優先にする事業や地域経済の再生につながるような施策

へ転換することが大事であり、認定できない。

●議案第174・175号(竹仁、戸野地域センターの指定管理)

反対

谷 晴美議員

元々地域センターは公民館であり、生涯学習や社会教育の実

践の場として位置づけられ人員配置されていた。ところが名称が地域センターに変わり、何の権限もない組織では情熱があっても長続きせず、やがては機能が後退してしまう恐れがある。

●議案第175号(戸野地域センターの指定管理者の指定)

賛成

宮川 誠子議員

市内全域に設立された住民自

治協議会の活動拠点である地域センターを、地元の自治協に管理運営していただくことによって、地域がより活性化していくと考え、賛成する。

●議案第318号(東広島市火葬場の指定管理)

反対

宮川 誠子議員

指定管理とする理由として、「専門的な視点を持った者に任

せることで、遺族の心情に配慮したサービスが可能となる」と以前に説明があった。しかし、市の公共施設は様々で、性質も違えば内容も違うにもかかわらず、全てが画一的な基準によって選考されているという実態がある。やはり担当部署の思いが実現できる選考システムに変える必要があるということから、あえて反対とする。

●議案第318号
(東広島市火葬場の指定管理)
反対 谷 晴美議員
管理費用も直営より下げられており、ワーキングプアの発生と公的責任が後退することから反対する。

●議案第360号
(東広島運動公園の指定管理)
反対 谷 晴美議員
利益を上げることにより、置かれ、施設の公共性そのものが損なわれる。選定基準においても、十分な資料提供もなく、透

明性に欠いていると言わざるを得ない。

●議案第361号
(東広島立図書館の指定管理)
反対 谷 晴美議員
今年度図書館の民営化を取りやめた自治体がある中、本市は指定管理者制度を導入する少数の自治体の一つである。小牧市のように住民投票をした自治体があるように、時間をかけ慎重に進めるべきである。

●議案第362号(寺家地区産業団地の請負契約の変更)
反対 谷 晴美議員
岩盤を取り除く費用は約4千万円に上り、事業効率の悪い土地に対するこれ以上の投資は市民の理解が得られない。

●議案第362号(寺家地区産業団地の請負契約の変更)
賛成 宮川 誠子議員
幾ら事前にボーリング調査をやっても、実際に掘ってみない

ことには分からない。掘った後に精算することが一番効率的なやり方であり、提案された変更契約は適切と判断する。

●議案第365号(マイナンバーの利用に関する条例の改正)
反対 谷 晴美議員
2018年1月から口座番号とマイナンバーを結びつけることができることが法律で決まっております。ますます情報漏えいの危険性が広がっている。この条例案はこの制度の柱になるもので認められない。

●議案第365号(マイナンバーの利用に関する条例の改正)
賛成 宮川 誠子議員
この条例がなければ、庁舎内の各部署が持っている情報を共有できない。例えば市民が窓口で申請する際に、「この関係書類が要りますから、あちらの部署に行ってください」といことが解消できる。

●議案第374号
(一般会計の補正)
反対 谷 晴美議員
仮称寺西第2小学校新設用地について、係争に係る判決が出ていない中で取得を進めることは、住民の理解が得られない。

●議案第374号
(一般会計の補正)
反対 大谷 忠幸議員
仮称寺西第2小学校の敷地の一部を約8億5千万円で購入するということだが、文化財調査終了の目的が立っていないこと、係争中であること、建設予定地を選定した根拠となる測量会社が作成した報告書がアリバイづくりである可能性が高く、不正支出の疑義があること。

●議案第374号
(一般会計の補正)
反対 大谷 忠幸議員
以上3点から、現時点で巨額な支出を認めるべきではないと判断し反対する。

●議案第374号
(一般会計の補正)
反対 大谷 忠幸議員
以上3点から、現時点で巨額な支出を認めるべきではないと判断し反対する。

以上3点から、現時点で巨額な支出を認めるべきではないと判断し反対する。

委員会審査概要

総務委員会

●議案第175号

(戸野地域センターの指定管理)

Q 事務員がなかなか定着しないと聞いているが、実態をどう把握しているのか。

A 事務員は指定管理者側が人選し、配置している。しかしながら、地域センターは住民自治協議会の拠点でもあり、住民自治協議会の事務と生涯学習機能を含めた地域センターの事務の線引きが明確になっていないことが課題であると聞いている。今後も、実態把握に努めるとともに、住民自治協議会の運営等について、引き続き、住民自治協議会と連携していきたい。



戸野地域センター

●議案第365号 (マイナンバー制度に関わる条例の改正)

Q 今回の改正内容が平成27年9月の条例制定時に盛り込まれなかった理由は何か。

A 独自事務を盛り込んだ形で第3回定例会に上程したいという思いがあったが、「マイナンバー法」の改正について国会審議が遅れていたこと、

システム改修などの準備行為に着手する必要があったことから、第3回定例会においては、その時点で法定事務とされていたもののみを議決いただいた。その後も、国の事務手続きが遅れており、国の事務が間に合わないものについては、今回の条例改正で規定し、平成28年1月1日からの利用開始に備えようとするものである。

Q 今後、特定個人情報の利用範囲が拡大していく可能性はあるのか。

A 国の方向性としては、社会保障・税以外の分野にも拡大していくというものであり、今後、利用範囲が増えていく可能性はある。

●議案第366号 (市の組織体制の変更)

Q 企画振興部地域政策課が担っている役割が、「地域づくり推進課」として生活環境部に移ることを大変危惧している。今後、企画部門とうまく連携できるのか。

A 地域政策課の役割を政策企画部門に置くべきか



現地域政策課

については、庁内でもいろいろと議論したところであるが、市民生活に密着した生活環境部へ移すことにより、地域活動や市民協働をさらに推進していくと考えている。政策企画部門との連携は当然確保しながら、地域づくりを進めていく。

Q 新設される「政策推進課」の業務内容や職員数はどうなるのか。

A 政策推進課では、道の駅や（仮称）寺家駅の整備など具体化されたプロジェクト事業を実施し、スピード感を持って政策を推進したい。職員数については、現在検討中であり、業務量に応じた体制にした

●議案第374号
（一般会計補正予算）

Q 河内町宇山地区への「地域おこし協力隊」導

入に向けて、住環境の整備費が計上されているが、具体的な内容は何か。

A 地域おこし協力隊の導入に当たっては、実際に地域に住んでいただき、最終的には定住してもらいたいという思いを持っている。そのためは、地域の空き家等を探し、住んでいただける状態に整える必要があり、小規模な改修費用として100万円を計上させていただ



河内町宇山地区

Q 情報通信基盤整備事業の増額理由は何か。

A 今年度に入り、光インターネットサービスの新規申し込みが増えており、当初想定していた580件を超え、年間800件程度になる見込みとなったことから、増額をお願いするものである。

文教厚生委員会

●議案第373号
（志和市民グラウンドの設置）

Q 利用時間は午後10時までということとは、夜間照明については別途料金徴収するのか。

A 夜間照明設備がない施設についても午後10時までという形にしており、自主的に照明設備を準備して使用することができるといった意味合いである。

市民経済委員会

●議案第176号
（地域集会所の指定管理）

Q 地域の集会所については、いずれ地元に移管するという話だったと思うが、このたびの提案によると、今後随時、地元と話が整ったところから移管していくという見通しか

A その方針である。



下竹仁天神コミュニティホーム

ACTIVITY REPORT

東広島市議会活動レポート



議員研修

講師：三重県地方自治研究センター
上席研究員 高沖 秀宣 氏

- ◆開催日：平成27年11月25日
- ◆開催場所：市役所 全員協議会室
- ◆テーマ：政務活動費の役割とあり方

議会審議の活性化を推進する上で重要となる「政務活動費」の役割について講演をいただくとともに、政務活動費の支出や報告のあり方についての具体的留意事項を学んだ。



総務委員会意見交換会

- ◆開催日：平成27年10月26日
- ◆開催場所：市役所 第1委員会室
- ◆相手方：自主防災組織の代表者
- ◆テーマ：自主防災組織の現状と課題について

各自主防災組織の現状の活動及び課題等について発表いただくとともに、地域独自のハザードマップの整備や危険箇所の再確認（土砂災害対応）など、具体的な取り組みをあげながら意見交換を行った。



市民経済委員会意見交換会

- ◆開催日：平成27年11月9日
- ◆開催場所：市役所 第1委員会室
- ◆相手方：有害獣侵入防止柵設置事業施工団体、東広島地区猟友会
- ◆テーマ：有害鳥獣対策にかかる課題等について

各地域における有害獣による被害状況について発表をいただくとともに、侵入防止対策から捕獲、そして捕獲後の加工処理施設まで、課題とその対策について意見交換を行った。



建設委員会意見交換会

- ◆開催日：平成27年10月26日
- ◆開催場所：市役所 第2委員会室
- ◆相手方：東広島商工会議所、黒瀬商工会、広島県中央商工会及び安芸津町商工会の各部会長
- ◆テーマ：東広島市のインフラ整備における課題について

本市のインフラ整備に対する問題点及び課題等について発表をいただくとともに、道路（歩道含む）及び河川の改修、ため池の維持管理から高潮対策まで、幅広く意見交換を行った。

まちづくりは教育にあり

まつうら かずこ
松浦 和子 (志和)

先日、志和町内3小学校の統合・小中一貫校の設置について市教委の住民説明会があり、賛否両論が出ていました。

志和の子ども達にとってより良い教育環境をと考えれば統合もやむを得ないと私は思います。統合となれば住民自治協議会・地元住民保護者等が集まり、準備会が立ち上げられるとのこと、是非私達の思いを反映できる場にして下さい。

今の学校、子ども達も先生方も忙しそうです。そこで、ゆったりした図書館スペースを校舎中央に置く計画を採り入れていただけませんか。子どもは勿論住民も利用できるみんなの小学校にするのです。

教育は活力のあるまちづくりを目指す重要課題。若者の定住促進につなげたいものです。

市民の声

The letter from a citizen

「ヘソまつり」のさらなる発展を

くろかわ ひろあき
黒川 浩明 (豊栄)

どまんなか豊栄ヘソまつりは、今年8月、20周年を迎える。この祭りが、豊栄町の祭りから東広島市の祭りへ、さらに全国に知られるユニークな祭りのひとつへと大きく発展することを心から期待する。ヘソ踊りの祭りは北海道富良野市その他にあるが、豊栄町では舞台上で頭を被り物で隠し、顔の絵を書いたお腹を揺すったり、波打たせたりしながら、3分間の踊りを発表する。大学生や家族のチームも参加し、衣装や踊り、お腹の絵にも工夫を重ね、表情や踊りの滑稽さが観客の心を和ませる。

この20年、ここに至るまでには先輩達の多くの苦労もあった。豊栄町住民の自信と誇りの源のひとつとして、今後も多くの人達の参加を得ながら歩き続けて欲しい。

平成28年第1回定例会の日程

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
					本会議 (初日)	
14	15	16	17	18	19	20
		予算特別委員会・常任委員会 (議案審査)				
21	22	23	24	25	26	27
		常任委員会 (議案審査)			本会議 (議案審議)	
28	29					
	本会議 (代表質問)					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
		本会議 (代表質問・一般質問)		予算特別委員会		
6	7	8	9	10	11	12
		予算特別委員会				
13	14	15	16	17	18	19
		予算特別委員会		本会議 (予算審議)	予備日	
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

委員会等のインターネット中継

常任委員会や全員協議会の様子が、インターネットライブ中継で視聴できます。市議会ホームページからアクセスできます。

本会議・委員会の傍聴

傍聴は当日議会事務局で受け付けます。ご不明な点は議会事務局 (082) 420-0966へお問い合わせください。

<http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/shi-gikai/>

東広島市議会

検索



耳マーク



全景及び登山口

槌山城は、大永3年（1523）の鏡山城落城後、周防山口の大内氏が東西条の支配拠点とした西条盆地西端の山城跡です。守護山、明神山城とも呼ばれていました。この城の築城については諸説ありますが、南北朝時代と考えられています。天文20年（1551）、陶晴賢によって大内義隆が滅ぼされるまで、安芸・備後は大内氏の領国となっていました。その統治の中心がこの槌山城でした。

市議会だより

■発行／東広島市議会
■編集／広報広聴委員会
〒739-8601
東広島市西条栄町8番29号
TEL.082-420-0966
FAX.082-424-9465
(議会事務局)

■ご意見ご感想をお寄せください
市議会だより、東広島市議会ホームページ
に関するご意見ご感想は東広島市議会事務局
(左記)までお寄せください。



<http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/shi-gikai/>

Editor's postscript

編集後記

軽減税率導入について

政府は、低所得者対策のために軽減税率の導入を決定いたしました。軽減税率は、買物のたびに税負担が軽い実感が得られ、逆進性を緩和する大きな効果が期待されています。

世界では付加価値税を導入されている国は、162か国あり、

その中で軽減税率を導入しているのは、125か国の地域です。全体の約8割に達しています。食品など生活必需品を一般の税率より低く抑えることは、全国の多くの皆さんの声でありました。市民の皆様の声がいけるよう、全力を尽くします。

加根 佳基